

・平成27年度 市町村提案型事業の実施状況



荒廃した里山・平地林の整備（高山村）



貴重な自然環境の保護・保全（伊勢崎市）



貴重な自然環境の保護・保全（渋川市）



森林環境教育・普及啓発（千代田町）



森林環境教育・普及啓発（館林市）



森林環境教育・普及啓発（藤岡市）



独自提案事業（渋川市）

6 成果

- ・ 各(環境)森林事務所単位で市町村説明会を開催すると共に、市町村の林業担当部局や教育委員会等に、直接訪問して幅広く事業普及に努めた結果、平成26年度は29市町村(117事業)で取り組んでいた事業が、平成27年度は31市町村(208事業)で取り組まれました。
- ・ 事業普及の結果、平成26年度は約2,000人の参加者であった森林環境教育・普及啓発への参加者が増加し、約5,800人の県民(児童生徒)へ、森林環境の大切さを伝えることができました。
- ・ 評価検証委員会より「県民ニーズと制度設計時における想定にズレが生じている場合もあり、十分な検討が必要とされる。」との意見をいただいたため、県民から要望が多かった竹林の全伐と、森林環境教育の拡充を行いました。
- ・ 幅広く事業普及を実施した結果、平成28年度事業計画が県内全市町村から提出され、平成28年3月に開催された評価検証委員会において、当初予算(280,000千円)に相当する事業が承認されました。

7 課題・方向性

- ・ 困難地整備支援後の地元による維持管理作業への負担感から、協定を締結できず廃止となった事業があります。そのため、地元市町村と協力しながら地域の取組をフォローし、本事業を有益に活用できる体制づくりを行います。
- ・ 事業採択されたものの年度内に事業が完了せず繰越事業が生じたため、市町村による早期の事業着手が図られるよう事務手続等のスケジュールについて配慮する必要があります。
- ・ 今後も幅広く事業普及を実施し、市町村提案型事業の定着を図ります。

8 実施状況の評価(評価者:県)

- ・ 事業の普及に努めた結果、一定の周知が図れました。
- ・ 荒廃した里山・平地林の整備については、採択された計画の一部について、整備箇所の地元調整が難航し、年度内完了が困難(繰越14事業)となり、十分な効果に繋がらない事業が生まれました。

9 評価検証委員会の意見

1 概要

● 普及啓発

ぐんま緑の県民税への理解を深めるため、税のしくみ、森林の役割や大切さの普及啓発活動を実施します。

● 評価検証

事業の内容検討・実績評価・効果検証などを行う「ぐんま緑の県民基金評価検証委員会」を運営します。
事業の客観的な効果検証を行うために必要な県の林業試験場による調査・分析を実施します。

2 実施状況

【平成27年度の実績】

2,499千円

○普及啓発

【平成27年度の実績】

998千円

- ・ 制度の一部変更に伴うリーフレットの改訂版作成(10,000部)
- ・ 広報媒体を利用した普及啓発(県HP、FMぐんま等)
- ・ 本事業による整備箇所を見学するバスツアーの実施(3回・113人)
「ぐんまの森林をトレッキング！歩こう！登ろう！ぐんまの森林ツアー」
- ・ 市町村への普及啓発活動
- ・ 平成26年度事業実績報告書の作成

リーフレット



バスツアー



県ホームページ



○評価検証（評価検証委員会の運営）

【平成27年度の実績】

383千円

・ 評価検証委員会の開催（3回）

- 1回目：平成27年 8月17日 … 県庁29階 第一特別室 9:30～11:30
- 2回目：平成27年12月14日 … 県庁 7階 審議会室 14:00～16:00
- 3回目：平成28年 3月18日 … 県庁29階 第一特別室 10:00～12:00

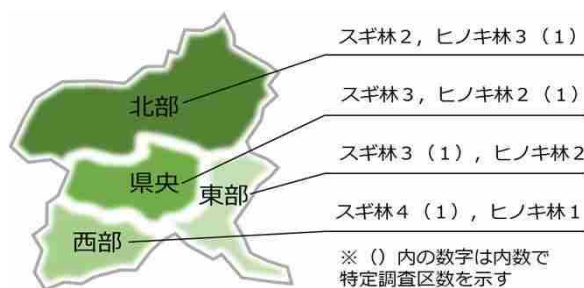


○評価検証（調査分析）

【平成27年度の実績】

1, 117千円

- ・ 水源地域等の森林整備事業地を対象に間伐の実施による事業効果の判定
- ・ 県内20箇所に設定した調査対象地の追跡調査を実施
(相対照度測定・植生調査・植被率調査)



調査地の内訳

調査項目	通常区	特定調査区
毎木調査		○
照度	○	○
植被率	○	○
植生乾燥重		○
土壌断面		○
植生調査	○	○

相対照度の測定の様子



植生調査



植被率調査